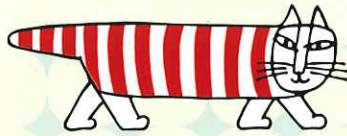




知られざる創造の世界
クラシックな名作とともに

リサ・ラーソン展

LISA LARSON:
SEEN AND UNSEEN



2023
9/9 Sat. → 11/19 Sun.

閉館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（ただし9/18、10/9、11/6は開館）、9/19（火）、10/10（火）

観覧料：一般1,300（1,100）円、高大生800（600）円、中学生500（400）円、小学生以下無料

- *（ ）内は10名以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
- *小学生以下のお子様は保護者同伴でご来場ください。小学生のみでご来場の場合は、当館総合受付にお声がけください。
- *リピーター割引として、当館または他の道立美術館、銅路芸術館で開催された特別展のチケット半券のご提示により、本特別展を割引料金でご覧いただけます。
- *相互割引として、神田日勝記念美術館のチケット半券のご提示により、本特別展を割引料金でご覧いただけます。（上記二つの割引については、1枚につき1名様1回限り有効。有効期限はチケット裏面に記載。）
- *学校の教育活動でご利用される方、障害者手帳をお持ちの方などは無料。
- *コレクション・ギャラリーとの共通料金：一般1,410（1,310）円、高大生860（710）円。（ ）内は10名以上の団体の割引料金。中学生のコレクション・ギャラリー観覧は無料。

主催：北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、リサ・ラーソン展実行委員会

特別協力：リサ・ラーソン・デザインAB、リアン・デザイン・ミュージアム

後援：スウェーデン大使館 協力：フィンエア、フィンエアカーゴ 企画：アートインプレッション、松屋 企画協力：トンカチ

展覧会公式ホームページ <http://event.hokkaido-np.co.jp/lisalarson/>

リサ・ラーソン展 帯広 検索

右上から時計まわりに

《首の長い未知の動物》（ユニークピース）2008年 《ネコ（マキシ）/大きな動物園シリーズ》現在の愛称：ミア 本モデルは1966年から製造。本作品は1966-1980年頃に製造
《ドーラ/ABC少女シリーズ》製造1958-1973年 《花嫁》（ユニークピース）1960年代 《クジラの椅子》（ユニークピース）1970年代
《金のヒレを持つサカナ》（ユニークピース）1990年 《マリン/ラーソン家の子どもたちシリーズ》製造1962-1980年 《ハリネズミ/危険に瀕した動物たちシリーズ》製造1979年
《社会討論（大）》製造1969-1971年 《ライオン（マキシ）/アフリカシリーズ》本モデルは1968年から製造。本作品は1968-1980年頃に製造
作品：© Lisa Larson / Ahavo Campo イラスト：© LISA LARSON



北海道立帯広美術館
Hokkaido Obihiro Museum of Art

〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地 緑ヶ丘公園 tel.0155-22-6963

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/obj/>

<https://www.facebook.com/do.obimu>

ご意見ご質問等は oibi.11@pref.hokkaido.lg.jp

素朴で温かみのある動物や人物をモチーフとした作品で世界中の人々を魅了する、スウェーデンの陶芸家リサ・ラーソンの展覧会を開催します。

リサ・ラーソンは1931年にスウェーデンで生まれ、学生時代のデザインコンペをきっかけに、1954年から同国の著名な陶磁器会社グスタフスベリ社のデザイナーに迎えられました。以後26年間にわたり数多くのプロダクトを制作し注目を集め、1980年にフリーのデザイナーとなってからも、国内外を問わず活躍を続けています。

この展覧会は「Seen and Unseen」をテーマとし、これまで知られてこなかった部分にも光を当てて作品が選ばれています。古典的名作というべきシリーズ作品だけでなく、レアでユニークな作品、そして夫で画家・版画家のグンナル・ラーソンの作品も含めた約250点をご紹介します。彼女の知られざる一面と出会える展覧会です。

グスタフスベリ磁器工場で
《日本女性》の原型作品を
制作するリサ・ラーソン
1957年
Photo: Hilding Ohlson



LISA LARSON: SEEN AND UNSEEN

関連事業

●特別展セミナー

「リサ・ラーソン: Seen and Unseen」

講師: 当館学芸員

日時: 9月23日(土・祝)、10月22日(日) 午後2時~(約40分)

会場: 当館講堂(聴講無料、先着80名)

●ぬり絵の日

好きな色をぬって、自分だけのマイキーを作ろう!

日時: 9月10日(日)、10月8日(日)、11月5日(日)

各日午前9時30分~午後5時

会場: 当館講堂(参加無料、20席)



●キッズ・ミュージアム

「石ころアート」

託児室を開設します。お子さまが工作を楽しんでいる間、展覧会をゆっくりご鑑賞ください。

日時: 10月21日(土) 午後1時30分~午後3時30分

(受付は3時まで)

会場: 当館講堂(託児無料)



6



8



7



9

●前売券販売所(~9月8日) 帯広美術館、帯広市役所売店、ザ・本屋さん、神田日勝記念美術館、帯広図書館友の会、チケットらいぶ、ぶれいおん・とから、ローソンチケット(Lコード:11576)、セブンチケット(セブンコード:101-394)、チケットびあ(Pコード:686-533)、セイコマート(セコマコード:D23090904)、札幌市内道新プレイガイド、道新プレイガイドオンラインストア

※9月9日以降、ローソンチケット、セブンチケット、チケットびあ、セイコマート、道新プレイガイドオンラインストアでは当日券を販売いたします。

※混雑時には入館にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※展覧会およびイベントの予定は、やむを得ず変更となることがあります。その場合は、展覧会公式ホームページ等でお知らせいたします。

- 1 《枝付燭台》(ユニークピース) 1965年
- 2 《青いトリ》(ユニークピース) 1955年
- 3 《初期の人物像》(ユニークピース) 1952年
- 4 《大皿》(ユニークピース) 1993年
- 5 《紳士の蓋付容器》(ユニークピース) 1982年
- 6 《親密な二人》(ユニークピース) 1990年代
- 7 《壺》(ユニークピース) 1992年
- 8 《親指姫》(ユニークピース) 1982年
- 9 《文様のためのスケッチ》1960年代

作品: © Lisa Larson / Alvaro Campo イラスト: © LISA LARSON

展覧会限定

ミュージアムショップ

展覧会限定グッズをはじめ、リサ・ラーソンの陶器や雑貨が大集合!



てぬぐい 1,540円



トートバッグ 1,320円



マグカップ 2,200円



陶器

展示作品、《未知の動物》をモチーフにした新作陶器4種類(オマール/オルガ/オリビア/オーティス)各20個限り
各13,200円

※価格はすべて税込 ※数に限りがあります。何卒ご了承ください。

〈同時開催〉 コレクション・ギャラリー

Home 9月9日(土)~11月19日(日)

“Home”は、家、住まい、家庭、故郷という意味を含みます。新型コロナウイルス感染症が流行した近年、「ホーム」という言葉が以前より身近になりました。所蔵品の中から、住宅、家庭、作者の自宅付近や故郷の光景を描いた作品をご紹介します。

観覧料: 一般260(210)円、高大生150(110)円

* ()内は10名以上の団体の割引料金。

* 中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方などは無料。

* 高校生は毎週土曜日および学校の教育活動で利用する場合は無料。

* 開館記念日(9/22)、芸術週間(11/1~11/7)は、すべての方が無料。



長谷川哲【HOME 1997-2】
1997(平成9年)
当館蔵

【交通案内】

●バス: 拓殖バス

(帯広駅/バスターミナル②より)

【④~④ 南商業高校線】

【④ 帯広の森線】乗車

「緑ヶ丘6丁目・美術館入口」(約16分)

下車徒歩4分

●タクシー: JR帯広駅より約10分

●駐車場: 緑ヶ丘公園駐車場(無料)

【お問い合わせ】

北海道立帯広美術館

Hokkaido Obihiro Museum of Art

〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地 緑ヶ丘公園

tel.0155-22-6963

